

議会運営委員会 会議録

開催年月日	令和5年7月4日(火)	場 所	議会委員会室1
案 件	議運調査第2号 議会改革に向けた取り組み方法の検討について		
出席委員	佐藤委員長、後藤副委員長、石上委員、天日委員、大西委員、松下委員、渋谷議長(遅参)		
欠席委員		事務局	井口、大津
オブザーバー	今副議長	傍聴者	—
説明員	—		
開会時刻	13時01分	実会議時間	0時間47分
		休憩時間	0時間45分
閉会時刻	14時33分	延会議時間	1時間32分
次回日程	詳細未定であるが、8月を予定		
要点記録	<p><概 要></p> <p>1. 議運調査第2号 議会改革に向けた取り組み方法の検討について</p> <p>議会改革に関し、過去の決定項目に関し認識の差が見られるため、本会議における議会改革特別委員会報告並びに議会改革特別委員会会議録など、過去の経緯について、議員向けグループウェアで配布、一読をして本委員会に臨んでいると思われるが、再度、委員長から過去における要点を確認。</p> <p>議会モニター制度と子ども議会の開催については、コロナ禍による収束の見通しが明らかとならなかったことから、任期中(現在の議員改選前)については断念した。</p> <p>その後の議会改革特別委員会は、議員定数の議論を行ったことから、議会モニター制度と子ども議会の開催の議論に触れることなく議員改選を迎えている。</p> <p>議会モニター制度と子ども議会については、委員ごとに認識の違いがあり、実施の凍結とする、実施に向けて議会改革特別委員会を設置することに2分されていることが明らかとなった。</p> <p>議論を深めたところ、令和4年第3定における議会改革特別委員会報告において、「住民自治の根幹である市議会に対する、市民の理解を深める努力を市議会が積極的に行っていくことが、地位のなり手不足の解消と、議会機能の向上につながるものと考え」とあったことから、これから取り組むための考え方を一度整理する必要がある、その考え方のもとに何をできるかということを考えることが重要であるとの結論に至った。</p> <p>その後の議論において、議会が持ちうる権限、権能を最大限発揮するために議会の質の向上、議員の資質や議員力の向上などの意見が出された。</p> <p>これを受けて、議会の権限、権能はどのようなものが挙げられるか、この点の議論を深めることで、目指すべき方向性が見えるとされた。</p> <p>以後、各委員から意見が出され、政策提言能力を上げていく必要があると意見の一致を見た。</p> <p>このことから、議会の質の向上、議会として何ができて、できていないか、何が必要なのか、改善すべき点や、富良野市議会の現状に対する各議員の認識、会派の現状等を含め、会派での議論を深めていただいて、改めて本委員会に持ち寄って議論をしたい。</p> <p style="text-align: right;">→各委員了承・決定</p>		

	2. その他 なし
--	--------------

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。

議会運営委員長 佐藤 秀 靖